



Title	新年のごあいさつ 第209号
Author(s)	今田, 光三; 西野, 誠; 中谷, 紀久雄 他
Citation	makoto. 2025, 209, p. 2-7
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/98819
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

新年のごあいさつ



一般財団法人大阪防疫協会
理事長

今田 光三

あけましておめでとうございます。

新年が皆様にとって、健康と幸運に満ちた素晴らしい一年でありますように心よりお祈り申し上げます。

当協会は、昭和22年5月15日（1947年）に設立され、以来、多くの公益活動と収益事業を通じて、皆様方より暖かいご支援・ご指導・ご鞭撻をいただき、おかげさまで、本年5月（2025年）で創立78周年を迎えます。

さて、日本の人口減少と高齢化が進行し、社会保障制度への負担が増加していますが、そんな中でも、大阪においては2025年大阪・関西万博の開催を控え、相乗効果による経済の活性化も期待されております。

また、昨年度は、長期化するウクライナやイスラエルでの紛争、中国経済の減速、物価の高騰、気候変動の影響などを強く感じ、一方、対面でのイベントなどが一気に活性化し、人と直接会うことの喜びを再確認した1年でもありました。

テクノロジーの面では、何と言っても生成AIという革新的な技術の登場が、これから社会の大きな変化を予感させました。

2025年は十二支でいうと「巳（み：へび）」年で、蛇が脱皮して新しくなるように、巳年の「困難を乗り越えて新たな段階へ進む」という年でもあると思います。

国内外とも激動の時代で厳しい環境には置かれておりますが、こうした背景の中で、新しい年を迎えるにあたり、私どもは、足元を着実に固めつつ、将来の飛躍的な成長に向けて、しっかりと歩んでいきたいと考えております。

また、新しい時代のニーズにお応えするために、人々の健康で快適な暮らしに奉仕する公益法人設立当初の目的の実現に向け、積極的に民間の知恵と財源を集め、また技術者集団として高いレベルを保ち続け、精力的かつこれまで以上に社会に貢献すべく努めてまいりますので、本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

新年のごあいさつ



大阪府健康医療部長

西野 誠

新年あけましておめでとうございます。

一般財団法人大阪防疫協会の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えになられ、益々御清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素から大阪府の健康医療行政に御支援、御協力をいただき、心から感謝を申し上げます。

昨年は能登半島地震からの年明けとなり、その後、度重なる自然災害に見まわれた1年でした。3年以上に及ぶ未曾有の危機となつた新型コロナウイルス感染症対応の中で、行政、医療機関、府民や事業者の皆様それぞれが感染症対応力を強化し、連携・協力ながら危機を乗り越えてまいりました。しかしながら、未だ新型コロナウイルスは、私たちの身近である感染症に変わりはありません。また、いつ新たな感染症が発生するかもしれない中で、私たちはその備えを怠ることなく、不断の準備を進めておく必要があると考えています。

こうした中、新興感染症等への対応については、昨年度末、新型コロナウイルス感染症対応の教訓を踏まえ、医療機関等との協定締結に基づいた検査・医療提供体制の整備などを盛り込んだ感染症予防計画を改定しました。また、新興感染症等による感染症危機が発生した場合の対策を示した大阪府新型インフルエンザ等対策行動計画についても、幅広い呼吸器感染症等による感染症危機に対応できるよう、約10年ぶりの抜本的改定に向け検討を進めております。府としては、次なる感染症危機に備え、関係機関の皆様とともに、平時から準備を行い、有事の際は柔軟かつ機動的な対策を講じてまいります。

本年は「大阪・関西万博」が開催され、多くの方が大阪を訪れられます。安心して万博を楽しんでいただけるよう、期間中の感染症の発生に備え、「大阪・関西万博感染症情報解析センター」を大阪安全基盤研究所内に開設し、兆候を早期に探知する強化サーベランスを行うことにより感染症対策の強化を図ってまいります。

貴協会がこれまで培ってこられた公衆衛生に関する豊富な経験や専門的知見は、感染症の発生予防やまん延防止対策にあたり非常に心強いものです。今後とも大阪の安全・安心の確保に向け、より一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴協会の益々の御発展と皆様の御健勝を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

新年のごあいさつ



大阪市健康局
生活衛生担当部長

中 谷 紀久雄

あけましておめでとうございます。

一般財団法人大阪防疫協会の皆様方には、健やかに新年をお迎えのことと、心からお喜び申しあげます。

貴協会の皆様方におかれましては、平素から環境衛生行政をはじめ大阪市政の各般にわたり格別の御理解、御協力を賜り、厚くお礼申しあげます。また、貴協会におかれましては、防疫に関する知識の普及啓発に日頃から取り組まれており、その社会貢献に対して深く敬意を表する次第であります。

貴協会が永年にわたり培ってこられた豊富な知識や経験は、大阪市としても非常に心強く、今後とも、公衆衛生の向上、市民の安全・安心の確保に向け、より一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

さて、不安定な国際情勢などを背景とした物価高騰の影響の長期化により、市民の暮らしや事業者の方々の経営環境は厳しい状況が続いておりますが、一方で、近年の大坂経済は緩やかに持ち直し回復傾向にあります。

本年4月に開催される大阪・関西万博が、大阪のみならず日本の経済成長の起爆剤と期待されており、大阪市としましても、地元自治体として成功に向けて、(公社)2025年日本国際博覧会協会と連携して、万博の円滑な運営に取り組むとともに、府市一体で、万博後も見据えた成長戦略の取組を加速させ、「にぎやかで活気あふれるまち大阪」の実現をめざして市政運営を進めてまいりますので、皆様方の御理解と御協力を賜りますようお願い申しあげます。

結びにあたり、一般財団法人大阪防疫協会の今後ますますの御発展と会員の皆様方の御健勝、御活躍を心からお祈り申し上げまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

新年のごあいさつ



堺市健康福祉局
保健所次長

藤 川 桂 祐

新年あけましておめでとうございます。

今田理事長をはじめ一般財団法人大阪防疫協会の皆様方には、健やかに2025年の新春を迎えられ、益々ご清栄のことと心からお慶び申し上げます。平素は、本市保健衛生行政の推進に格段のご理解とご協力を賜り、深く感謝申しあげます。

さて、ここ数年、日本列島は毎年のように地震や台風、集中豪雨など大規模な自然災害に見舞われています。昨年は、1月1日に能登半島地震、8月には日向灘を震源とした地震、さらに台風10号の上陸など、多くの災害が発生しました。このたびの災害により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

本市としましても、改めて、災害時における医療体制の整備、感染症をはじめとした各種健康危機事象への対応についての重要性を認識したところです。今後も引き続き、市民のいのちと健康を守るため、危機事象発生時には迅速かつ効果的な対応ができるよう取り組んでまいります。

また、2025年4月には大阪・関西万博が開催され、国内外から多くの方が来訪されます。大阪だけでなく関西をアピールする絶好の機会であり、大きな経済波及効果が期待される一方で、新たな感染症の流行などのリスクも予想されます。本市としては健康危機管理を適切に行うとともに、この好機を逃さず、堺の持つポテンシャルを活かしてその効果を確実に取り込み、大阪府や大阪市、その他の周辺地域と連携しながら、堺の成長、発展につなげてまいります。

貴協会におかれましては、これまで培ってこられた防疫対策などに関する豊富な知識、経験、高度な技術を発揮され、今後とも本市の保健衛生行政の推進に、より一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、一般財団法人大阪防疫協会の益々のご発展と、会員の皆様のご活躍とご健勝、ご多幸を心よりお祈りいたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

新年のごあいさつ



東大阪市健康部長

田 中 健 司

新年あけましておめでとうございます。

一般財団法人大阪防疫協会の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。旧年中は、本市の保健衛生行政推進に格別のご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は地震や大雨による自然災害が多数発生いたしました。被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。昨年1月に発生した能登半島地震におきましては、本市からも複数名の職員を石川県へ派遣し、現地の公衆衛生の向上に微力ながら尽力いたしました。近畿圏内でも南海トラフ地震をはじめとした様々な自然災害が予測されています。有事の際も市民の健康と安全を守れるよう、更なる公衆衛生行政の機能強化に取り組んでまいります。

さて、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行してから1年以上が経過し、現在はインバウンド観光需要が非常に高まっております。今年は大阪・関西万博の開催が予定されており、ますます人の行き来が活発になることが見込まれます。これにより様々な感染症の流行やトコジラミの拡大が懸念されます。全国的に増加しているトコジラミの相談件数は本市でも年々増加しており、不安を感じる市民の方も多数おられます。薬剤抵抗性のトコジラミも確認されており個人での駆除は非常に難しく、事業者の専門的な知識と技術が求められます。保健所としましても、生活衛生関係施設への啓発等を通してより一層対策を徹底してまいります。貴協会におかれましては、永年にわたり培ってこられた豊富な知識や技術を遺憾なく発揮され、今後とも本市の保健衛生行政推進に引き続きご尽力賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、一般財団法人大阪防疫協会の今後益々のご発展と会員の皆様方のご健勝、ご多幸を心から祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

新年のごあいさつ



高槻市健康福祉部長

根 尾 俊 昭

新年明けましておめでとうございます。

一般財団法人大阪防疫協会の皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。また、旧年中は、本市の保健衛生行政の推進に格段のご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、元日に能登半島地震が発生し、また、復旧途上の9月には大雨により河川の氾濫、土砂崩れなど、甚大な被害が発生しました。お亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆さんに心よりお見舞い申し上げます。

本市は、平成30年に発生した大阪府北部地震の経験を踏まえ、地震発災当日から被災地での救助・復旧作業に取り組みました。保健所職員も大阪府のDHEAT 及び公衆衛生チームの一員として避難所における住民の健康管理業務等に従事いたしました。

今後も、南海トラフ地震をはじめ、様々な自然災害の発生が危惧されているところですが、各関係機関と連携して災害時の医療体制及び保健衛生活動を強化すべく様々な取組を推進してまいります。

さて、本市は、全ての市民が健康でいきいきと暮らすことができ、質の高い医療・介護が受けられる「健康医療先進都市」を推進しております、昨年2月には、本市、大阪医科大学、高槻市医師会、高槻市歯科医師会、高槻市薬剤師会の5者で「健康医療先進都市」推進のための連携に関する協定を締結いたしました。5者がより一層、連携し、「健康」「医療」に関する施策の更なる充実を図るとともに、その強みや魅力を発信してまいります。

貴協会におかれましては、永年にわたり培ってこられた防疫活動に関する豊富な知識や高度な技術により、今後とも市民の安全・安心の確保にご尽力いただくとともに、本市の保健衛生行政の推進にご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びとなりますが、貴協会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝、ご多幸を心から祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

新年のごあいさつ



豊中市健康医療部長

松 浪 桂

新年あけましておめでとうございます。

新春を迎へ、一般財団法人大阪防疫協会の皆様には、益々ご清栄のことと心からお慶び申し上げます。

旧年中は、本市保健衛生行政の推進にご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、令和6年に大阪を訪れた訪日外国人は、コロナ禍前を上回り、上半期過去最高となり、通年で1400万人になると見込まれています。令和7年4月には160以上の国・地域が参加する大阪・関西万博が開催されます。国際的マスギャザリングイベントと捉え、空港のあるまち、豊中市として、感染症をはじめとする健康危機事象を想定し、公衆衛生対応に備える必要があります。

また、令和6年は能登半島地震の発生や南海トラフ地震臨時情報の発表があり、平時からの災害への備えの必要性についても改めて認識した一年でした。本市においても、医療機関や関係団体とのネットワークをさらに強化し、行政、関係機関、市民等の協力により、あらゆる健康危機への対応力につながる取り組みを進め、強固な保健・医療提供体制のもと、感染症の発生予防・まん延の防止をはじめ、健康危機対応力の向上を図ってまいります。

世界的に報告されている新興感染症の約6割が動物に由来し、人・動物・環境の健康を維持するワンヘルスの重要性がさらに高まっています。貴協会におかれましては、永年にわたり培つてこられた防疫や環境衛生対策に関する豊富な知識と経験、高度な技術をいかんなく發揮され、本市の保健衛生行政の推進に、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、一般財団法人大阪防疫協会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

新年のごあいさつ



枚方市健康福祉部長

林 訓 之

新年明けましておめでとうございます。

一般財団法人大阪防疫協会の皆様におかれましては、健やかに佳き新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

旧年中は、本市の保健衛生行政の推進にご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は能登半島で1月1日に地震が、9月21日には豪雨が発生し、多くの方々の尊い命が失われるなど甚大な被害をもたらしました。犠牲となられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。

本市では、地震後に被害を受けた石川県に対して、保健師、環境衛生監視員等の職員を派遣し、地域の災害医療体制の調整や避難所巡回等を行いました。保健所は公衆衛生の向上及び増進を目的とし、災害、食中毒・感染症対策等の健康危機管理拠点として地域の保健医療の調整を担い、有機的に機能させる役割があります。昨年3月には、健康危機管理体制の強化を目的に健康危機の段階に応じた人員体制や業務重点化、人材育成のための研修・訓練等について定めた「枚方市保健所健康危機対処計画(感染症編)」を策定いたしました。災害やパンデミック等の健康危機に備え、さらなる機能の強化を図つてまいります。

また、本年4月には、大阪・関西万博2025が開催され、国内外から訪問客の増加が見込まれます。宿泊施設の環境衛生対策を推進するため、施設への監視、自主管理の促進を図ります。特に、近年宿泊施設での発生が報道されているトコジラミの対策については、重点的に啓発を行つてまいります。

貴協会におかれましては、今後とも本市の保健衛生行政の推進にご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、貴協会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

新年のごあいさつ



八尾市健康福祉部長

當座 宏 章

新年あけましておめでとうございます。

貴協会の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

昨年は、石川県能登地方を始めとした大規模地震の発生やゲリラ豪雨による河川の氾濫、土砂災害が各地で起こるなど、大自然の怖さを見せつけられた1年となりました。また、8月の宮崎県日向灘を震源とした地震では、初めて南海トラフ地震臨時情報が気象庁から発表されるなど改めて危機管理・災害対策の重要性を感じています。

さて、今年は大阪関西万博が「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、人類共通の課題解決（SDGsの達成）に向けて国家プロジェクトとして開催されます。本市では、「大阪ヘルスケアパビリオン」での出展が自治体で唯一決定しており、万博、またその先の未来につづくプロジェクトの推進力となり、ものづくりのまちとして歩んできた独自性、面白さを国内外へ広く発信していきたいと考えています。万博開催にあたり、たくさんの方の来訪が予測されます。宿泊業に対するトコジラミ発生の注意啓発、宿泊者名簿の記載の徹底指導や Dengue熱等の感染症媒介蚊発生時の対応に対して万全を期してまいりたいと考えています。

貴協会におかれましては、ねずみ・衛生害虫防除事業はもとより国有ワクチンの供給事業、防疫知識の啓発事業等、70年以上の長期にわたり公衆衛生業務にご尽力いただいていますことに改めて感謝申し上げます。今後とも本市の保健衛生行政の推進にご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴協会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

新年のごあいさつ



寝屋川市健康部長

木 場 富士夫

新年あけましておめでとうございます。

一般財団法人大阪防疫協会の皆様におかれましては、益々ご清栄のことと心からお慶び申し上げます。また、旧年中は本市の保健衛生行政の推進に格別のご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本市では令和6年度からスズメバチ営巣駆除業務委託事業を開始しました。中核市として保健所を設置した令和元年度以降、市民から寄せられる毎年のハチ類の相談件数が顕著に増加傾向にあり、その中でもスズメバチの巣の駆除に関する相談が近年、多くを占めておりました。全国で見ますとスズメバチに刺された後に毎年10名から20名を超える死亡者がでており、特に高齢者では致死率が高くなると言われております。そのため、スズメバチによる刺咬被害を未然に防止するとともに、市民の皆様の命と安全を守るという観点から、市民負担のない全額公費による事業の実施を始めた次第でございます。

このスズメバチ営巣駆除業務事業の委託先として貴協会の防疫資材部と契約を交わし、迅速に適切な駆除対応を行っていただいたおかげで、駆除申込みをされた市民をはじめ事業者あるいは自治会などからも、駆除完了後に大変好評をいただきました。この場をお借りして改めて深く感謝の意を表します。

本市におきましては、引き続き市民生活に寄り添い、市民の皆様が安全、安心に暮らしていけるよう様々な取組に尽力してまいります。

貴協会におかれましては、長年にわたって培ってこられた防疫対策などに関する豊富な知識や高度な技術を遺憾なく発揮されますとともに、今後とも本市の保健衛生行政の推進にご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴協会のますますのご発展と会員の皆様方のご健勝、ご多幸を心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のごあいさつ



吹田市健康医療部長

岡松 道哉

あけましておめでとうございます。

一般財団法人大阪防疫協会の皆様方におかれましては、健やかに新年を迎えてられましたことを心よりお喜び申し上げます。

旧年中は本市の健康医療行政の推進に格別の御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は日本各地で地震や豪雨等の大規模自然災害が続発し、その痕跡を残しました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げるとともに、災害からの復旧と復興が進み、一日も早く安心できる生活が戻ることをお祈り申し上げます。

令和6年能登半島地震に対し、本市では支援対策本部を設置し、被災地支援にあたりました。保健所からは、大阪府のDHEAT及び公衆衛生チームの構成員として職員を派遣し、避難所運営支援等を行いました。今後もその経験を活かし、平時から災害に対する意識を高め、危機管理体制の充実に努めてまいります。

また、本市では昨年4月から「吹田市総合防災センター」の運用が始まりました。市北部の消防機能や災害時の活動拠点となる複合施設であり、豊中市、池田市、箕面市、摂津市及び本市の5市で共同運用を開始した「北大阪消防指令センター」を有し、市域を超えた応援体制が強化されました。

さて、いよいよ今年4月から大阪・関西万博が開催されます。70年万博開催地である本市としても、半世紀以上の時を経て再び大阪・関西に世界各地から英知が集結する未来社会の一大イベントに、国内外から多くの方々が訪れるごとに楽しみにしております。国際的な人の往来の増加が見込まれ、様々な感染症発生のリスクが高まると考えられますが、引き続き関係機関と連携を深め市民の皆様が安心安全に暮らしていけるよう努めてまいります。

貴協会におかれましては、長年にわたり培つてこられた豊富な知識や技術を遺憾なく發揮されますとともに、今後とも本市の健康医療行政の推進に御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴協会の益々の御発展と会員の皆様の御健勝、御多幸を祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

新年のごあいさつ



一般財団法人
阪大微生物病研究会
理事長

米田 悅啓

新年明けましておめでとうございます。

一般財団法人大阪防疫協会の皆様におかれましては、穏やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は当財団のワクチン事業や検査事業に対し、格別のご理解とご愛顧を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。

2024年は、日本のスポーツ界にとって大変思い出深い一年となりました。五輪や海外のトップリーグでの選手たちの奮闘は、多くの人々に希望と感動を届けてくれました。選手一人ひとりが、数多くの試練と困難を乗り越えながらも、その限界を超えて挑戦を続ける姿は、私たちにとって大きな励みになりました。私たちが一喜一憂しながら応援する中で感じた彼らの活躍は、スポーツの持つ素晴らしい力を再認識させてくれました。

そして、2025年は「乙巳（きのとみ）」の年を迎えます。「乙」は新しい芽吹きを意味し、変化に対する適応力を示しています。一方、「巳」は「蛇」に関連付けられ、成熟と再生の象徴であり、過去の経験を基にして新たな可能性を切り拓くことが期待されています。弊会は昨年設立90周年を迎えました。この特別な年に私たちは、より一層の飛躍を目指し歩んでまいりました。「乙巳」の年を通じ、新たな挑戦をし、皆様と共に歩みを進められることを願っております。そして、「優れたワクチンを通じて、世界中の人々の大切な命を守る」という使命のもと社会への貢献を続けていく所存です。

結びにあたり、貴協会の益々のご発展と、会員の皆様方のご健勝を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。